

ひょうごらくのうメモ

8

2023AUG



表紙：小野市ひまわり公園(2023.7)

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058

西神文化センター3階

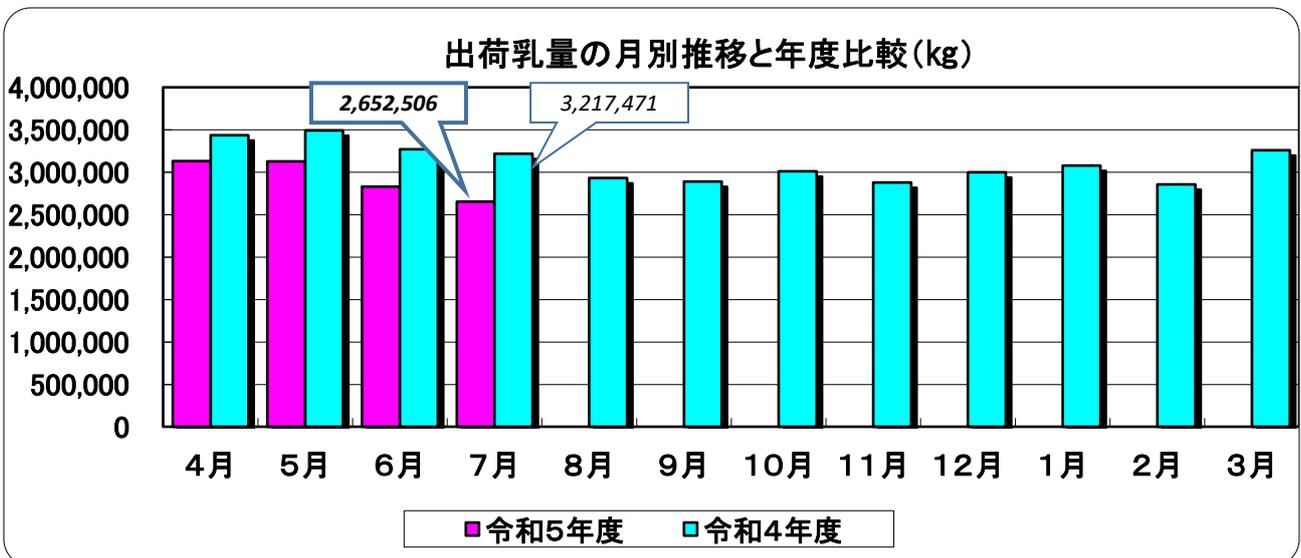
生乳生産統計

1. 全国(令和5年6月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	5年	4月	628.0	95.6
令和	5年	5月	648.9	95.6
令和	5年	6月	619.3	96.3
令和	5年	7月		
令和	5年	8月		
令和	5年	9月		
令和	5年	10月		
令和	5年	11月		
令和	5年	12月		
令和	6年	1月		
令和	6年	2月		
令和	6年	3月		
令和	5年度	累計	1,896.9	95.8

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地区	令和 5年7月		年度累計		出荷農家 戸数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	488,003	82.0	2,143,335	86.5	20
播州地区	334,170	62.0	1,505,164	67.4	15
丹但地区	262,824	78.8	1,170,205	87.0	14
淡路地区	1,567,509	89.6	6,921,368	94.0	82
合計	2,652,506	82.4	11,740,072	87.5	131



第4回理事会報告

令和5年7月28日(金)、第4回理事会をWEB会議方式により理事5名、監事2名の出席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和5年度生乳計画生産進捗状況、令和5年度4月・5月起点限定決算、夏季賞与支給について報告し、次の事項について協議した。

- ① 退任理事・監事に対する退任給与金の支給について
原案通り、各退任者毎の退任給与金額を振込により処理することを決定した。
- ② 参事及び会計主任の任免について
現職の参事及び会計主任を引き続き任用することを決定した。
- ③ 関係団体等委嘱役員の選任について
今期役員改選に伴い関係団体委嘱役員の選任を協議決定した。

その他の事項として、全酪連組合推奨配合飼料について話し合った。

◆ 主な行事予定 ◆

8月	9月
17日 淡路乳質改善協議会担当者会(淡路家保)	1日 職員会議(WEB)
18日 畜産技術ひょうご編集会議(県民会館)	5日 畜産近代化リース現地調査(丹波・但馬)
23日 内部管理職会議	9日 令和5年度洲本市農業祭・畜産共進会(淡路家畜市場)
兵庫県畜産協会臨時総会(農業会館)	11日 全酪連・近畿中四国酪農団体協議会 令和5年度管外酪農視察研修(北海道)
24日 令和5年度淡路畜産技術員研究会通常総会()	28日 令和5年度家畜改良事業団精液窓口会議(WEB)
25日 就業環境整備改善支援セミナー(神戸市産業振興センター)	29日 岩崎税理士事務所・税務監査

参考情報

淡路家畜市場情報

令和5年7月第2金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	5	206,140	233,200	181,500			60
前回	9	176,367		212,300	111,100			53	29,773	16.9%	
前年	6	191,583		240,900	128,700			55	14,557	7.6%	
オス	今回	5	225,060	259,600	183,700			56			
	前回	11	212,000	264,000	158,400			53	13,060	6.2%	
	前年	13	218,815	262,900	107,800			59	6,245	2.9%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	1	53,900	53,900	53,900			55			
	前回	1	67,100	67,100	67,100			52	-13,200	-19.7%	
	前年	1	93,500	93,500	93,500			58	-39,600	-42.4%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和5年6月第4金曜日・前年は令和4年7月第2金曜日

令和5年7月第4金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回	5	206,140		233,200	181,500			60	-206,140	-100.0%	
前年	5	148,940		198,000	93,500			52	-148,940	-100.0%	
オス	今回	3	256,300	259,600	253,000			50			
	前回	5	225,060	259,600	183,700			56	31,240	13.9%	
	前年	11	182,700	236,500	132,000			54	73,600	40.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回										
	前回	1	53,900	53,900	53,900			55	-53,900	-100.0%	
	前年	1	92,400	92,400	92,400			51	-92,400	-100.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和5年7月第2金曜日・前年は令和4年7月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84,852	7,917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99,587	7,368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104,430	8,775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101,788	7,440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123,317	6,324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117,640	7,227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74,406	7,599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	5	12	14,582	74	21,227	91	10,159	17	22,961
1		15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
2		15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
3		32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
4		34,608	39	43,205	90	47,594	15	58,915	5,810
5		65,572	36	67,518	79	50,008	13	69,390	6,043
6		67,793	27	74,466	79	59,620	5	76,121	6,049
7		52,833	33	60,202	74	11,000	1	64,051	5,771
8									
9									
10									
11									
12									

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150,928	14,421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163,424	13,270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175,588	15,423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178,697	13,776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190,858	12,825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187,300	12,975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157,593	13,177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12	114,802	588	106,584	332	166,884	181	86,297	15,782
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	111,958	14,394
	5	188,398	436	177,927	221	219,636	127	123,340	14,179
	6	204,456	298	202,847	271	250,721	111	139,965	13,253
	7	190,503	353	184,677	242	239,165	97	128,267	13,148
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

令和5年7月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（和・和系・他）				初妊牛（和・和系・他）				経産牛（和・和系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
豊 富	7/7					253	682	308	410	8	510	161	306
十 勝	7/10					671	854	206	456	134	513	110	276
釧 路	7/11					233	744	297	451	3	333	275	305
十 勝	7/12	402	342	10	209								
南北海道	7/14	27	276	23	173	65	663	272	442	7	405	169	292
北 見	7/19					280	723	198	426	12	446	175	271
根 室	7/20					446	831	220	452	5	433	204	312
豊 富	7/28	128	395	4	205								
合計	8回	557	395	4	206	1,948	854	198	444	169	513	110	279

前年同月成績	8回	700	404	4	222	2,031	1,173	132	535	94	694	121	316
前月合計成績	10回	1,122	436	8	209	1,879	914	103	439	104	768	136	345

ホクレン乳牛市場開催日程

8月4日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊 富)	9月1日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛) 育成
8月7日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音 更)	9月8日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊 富)
8月10日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音 更) 育成	9月11日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音 更)
8月18日(金)	ホクレン南北海道家畜市場 (安 平)	9月14日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音 更) 育成
8月22日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛)	9月15日(金)	ホクレン南北海道家畜市場 (安 平)
8月23日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間)	9月25日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間)
8月24日(木)	ホクレン根室地区家畜市場 (中標津)	9月26日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音 更)
8月28日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間) 育成	9月27日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛)
		9月28日(木)	ホクレン根室地区家畜市場 (中標津)
		9月29日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間) 育成

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和5年8月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.0～3.0	横這い	札幌管内の7月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で96.3%、苫小牧管内月計で93.8%、累計で93.5%の実績となっております。
	初妊牛	4.3～5.3	横這い	8月の初妊牛動向といたしまして、10月下旬～11月中旬分産が中心となります。秋分産となることから、需要は一定数あります。8月の初妊牛動向といたしまして、10月下旬～11月中旬分産が中心となります。秋分産となることから、需要は一定数あります。資源が少ない中で引き合いがかなり強い状況です。経産牛については、道内需要も強いことから、やや強含みに推移すると予想されます。出品頭数は少ないですが、初妊牛・育成牛ともに良質な牛が揃う地域ですので、相場が落ち着いているこの時期での導入をお勧めいたします。
	経産牛	3.5～4.5	やや強含みや	札幌管内の7月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で96.2%、累計で96.2%、累計で96.0%の実績となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.0～2.5	横這い	8月の初妊牛動向といたしまして、10月下旬～11月中旬分産が中心となります。道内市場相場は下り基調でありますが、その構成は、出品されているスノン物が大きく平均を下げています。庭先購買での中クラスの牛成りで、40～48万円を見込んでおります。和牛受精卵移植腹は、出回りが豊富にあることから、受精卵の血統により価格差が開いております。昏然による輸送事故を警戒し、導入頭数も少ない時期ではありますので、資源は確保しやすさと思われま。
	初妊牛	4.0～4.8	やや弱含みや	帯広管内の7月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で94.9%、累計で95.1%の実績となっております。
	経産牛	3.2～4.2	横這い	8月の初妊牛動向といたしまして、10月下旬～11月中旬分産中心となります。初妊牛に関しては、秋分産中心の出回りとなりますが、需要は例年より少なく、横這いに推移するものと考えられます。腹別では、今後のホル雌資源の減少を見込んだ動きが出はじめており、雌雄選別腹の需要が高まっております。経産牛に関しては、高泌乳牛などの即戦力となる牛については高値で取引されるものの、メガ・ギガファームの導入も落ち着いてきていることから、今後は横這いで推移すると見込まれます。育成牛に関しても、資源確保の需要が高まっているため、堅調に取引されると見込まれます。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.5～3.5	横這い	道北管内の7月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で96.6%、累計で96.2%、累計で94.8%の実績となっております。
	初妊牛	4.5～5.5	横這い	8月の初妊牛動向といたしまして、10月下旬～11月中旬分産中心となります。初妊牛に関しては、秋分産中心の出回りとなります。更新需要も見られるかと思えますが資源頭数も前年並みにあると予想されるため、相場としては横這いに推移すると予想されます。メガ・ギガファームが導入に動いた際は相場が変動する可能性もあるため、注視する必要があります。経産牛に関しても同様の動きになると予想されます。
	経産牛	4.0～5.0	横這い	道内の7月中旬までの生乳生産量前年比は96.0%、累計で95.6%の実績となっております。各地域とも、1番草の収穫がほぼ終了し、天候に恵まれたため、良質の牧草が収穫されております。
道北管内	育成牛(10-12月令)	1.8～2.8	横這い	8月の初妊牛動向といたしまして、10月下旬～11月中旬分産中心となり、相場は引き続き、夏分産相場同様で横這いと見込まれます。道内全体の資源は豊富ですが、雌雄選別腹が少なく、F1腹が豊富となっており、道内外の導入意欲が回復することがあれば相場が動いてくるため、動向を注視していく必要があります。例年より動きは鈍いですが、盆明け以降、導入が活発になる時期になってきます。資源は十分確保出来しますので、導入計画がございまして早めにご相談くださいますようお願いいたします。
	初妊牛	4.3～5.3	横這い	
	経産牛	2.8～3.8	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.5～3.5	横這い	
	初妊牛	4.5～5.5	横這い	
	経産牛	3.5～4.5	横這い	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一顧下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいたら購入の支所と札幌支所がお世話申し上げます。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(0165)2-2368

令和5年8月10日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

米国西海岸における北米西岸港湾労組(ILWU)と雇用主団体(PMA)の労使交渉は現地6月14日に暫定合意に至っておりますが、正式合意については秋頃と見込まれています。

カナダ西海岸ではカナダ西岸港湾労組(ILWU CANADA)と雇用主団体(BCMEA)の労使交渉が行われていましたが7月1日よりストライキに発展し、一時的にバンクーバー港で貨物の滞留や荷役遅延が発生しました。7月13日に一度、暫定合意となりましたが、カナダ西岸港湾労組が政府からの和解案を否決したことから再びストライキとなりました。その後、再度交渉が行われ7月30日に暫定合意となりました。

現在は正常稼働となっておりますが抗議活動の影響で港湾が混雑しスケジュールの遅延も発生しており早期の解消が望まれています。

ビートパルプ

【米国】

23-24年産の播種は終了しています。春先の冷涼な気候により播種作業が遅れましたが、気温の上昇とともに生育は順調に進んでいます。7月前半は乾燥した気候となりましたが後半は適度な降雨もあり、今後天候が安定すればスケジュールの早い地域で8月中下旬頃から23年産の収穫作業が開始される見込みです。

市場については輸出向け、米国向けの需要も少ないため供給に必要な分のみを短期的に買付しており、依然として産地相場を慎重に見極める状況が続いています。

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるコロンビアベースンでは天候に恵まれたこともあり、例年より早く2番刈の収穫が終盤を迎え、早い圃場では3番刈の収穫が行われています。収穫された2番刈の品質は色目が良く上級品が多く発生しています。

新穀の取引については22年産の歴史的な高値を受け慎重に買付を進めている輸出

業者に対し、生産農家は少しでも高値で販売したいと考えているため依然として買付進捗も低調のまま産地相場を見極める動きが続いています。



コロンビアベースン2番刈りアルファルファの圃場写真（7月下旬撮影）

ユタ州

ユタ州では1番刈の収穫が終了し、現在2番刈の収穫作業が終盤を迎えています。1番刈は多くの圃場で降雨被害があり上級品の発生は限定的となっています。中国や韓国といった輸出向け需要も低調に推移しているため産地相場は軟化しています。

オレゴン州

主産地であるオレゴン州クラマスフォールズでは1番刈の収穫作業が終了し、7月下旬から2番刈の収穫作業が開始されています。23年産の1番刈は例年よりも1週間遅い6月中旬から開始されました。作況については天候の回復を待って収穫した影響で、刈取り適期を逃し生育が進んだ圃場もあり、成分値の低下が懸念されましたが、例年同様、上級品が生産されています。

同州クリスマスバレーにおいても1番刈の収穫が終了しています。6月中旬より収穫作業を開始しましたが、収穫作業中に降雨被害があり6～7割程度が雨あたり品となり良品の発生は限定的です。

産地相場は米国内乳価の軟化、米国内酪農家の購買力が低下していることもあり、引き合いは弱く、需要は低調に推移しています。輸出向けでは中東向けで高成分のアルファルファを買付している輸出業者もいますが、買付進捗は低調となっています。上級品不足の影響で近隣州から買付に入る動きもあるため、今後の動きには注意が必要です。



(23年産オレゴン産1番刈アルファルファ 7月下旬撮影)

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは現在5番刈が収穫中です。産地では連日40℃を超える気温が続いており、過乾燥気味なサマーハイ中心の発生となっています。23年産は1番刈から3番刈は高成分の上級品が多く中東向けで買付が進みましたが、4番刈以降成分値が低下していることもあり需要は低調に推移しています。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、7月15日時点でのアルファルファの作付面積は145,769エーカー(前年同期は130,758エーカー)と前年同期比111%と増加しています。

同州北部のディクソン地区では現在3番刈の収穫作業が終盤に差し掛かっています。産地は酪農地帯から地理的に近いこともあり、1番刈は旺盛に売買されていましたが、2番刈以降米国内需要が落ち着いてきたことから相場は軟化しています。

米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースン及びエレンズバーグでは1番刈の収穫作業が終了しています。コロンビアベースン南部での早い圃場では7月下旬より2番刈の収穫作業が開始されています。23年産は春先の冷涼な気候で推移していたものの5月下旬の急激な気温の上昇や、収穫期の不安定な天気の影響で上級品の発生は限定的となり、中級品～低級品の発生が大半となっています。1番刈の生産量についても昨年と比較すると20～25%減少しています。

23年産も前年と同様に豆類やとうもろこしといった換金性の優れる作物に転作している圃場も多く、2番刈の生産量は減少すると見込まれています。



(23年産ワシントン産1番刈チモシー 7月下旬撮影)

スーダングラス

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、1番刈の収穫が終盤を迎えており、圃場によっては2番刈の収穫が開始されています。これまでに収穫されたスーダングラスは上級品及び中級品の発生が中心となりましたが、色抜け品の発生は生育期の湿度が低かったこともあり発生は少なくなっています。産地の多くの輸出業者は22年産の旧穀在庫を抱えており、例年よりも遅い買付進捗となっています。また、需要減退や産地価格も軟化していることから2番刈を行わない生産農家も多くなると予想されています。

灌漑局の発表によると、7月1日時点での作付面積は22,456エーカー(前年同期は46,888エーカー)、前年同時期比48%となっています。

作付面積は先月に引き続き減少していますが、日本向けの需要に対しては輸出業者も旧穀在庫を抱えているため供給力に懸念はなく、今後の産地相場上昇も考えにくい状況です。



(23年産スーダングラス 7月中旬撮影)

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、2番刈の収穫が終了し、圃場によっては3番刈の収穫が開始されています。産地では連日40℃を超える高温が続き、高湿度の予報も出ていることから3番刈は茶葉の混入や莖質が固く、不安定な品質になることが懸念されています。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、7月15日時点でのクレイングラスの作付面積は22,179エーカー（前年同期19,262エーカー）となっており、前年同時期比115%と増加しています。

バミューダ

主産地であるカリフォルニア州インペリアルバレーでは現在バミューダヘイは3番刈の収穫が開始されています。1番刈と2番刈の品質は上級品の発生が中心となりましたが、3番刈の品質は直近の気温上昇が影響し中級品の発生が中心となっています。

産地相場については米国内農家からの需要も減退しているため軟調に推移しています。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、7月15日時点の作付面積は65,080エーカー（前年同期62,740エーカー）と前年同期比104%の作付面積となっています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地であるオレゴン州ウィラメットバレーでは、7月上旬よりペレニアルライグラスストローの収穫が開始されました。例年と比べ降雨が少なかったため、土壌中の水分が不足し生育が進まず生産量は減少すると予想されています。

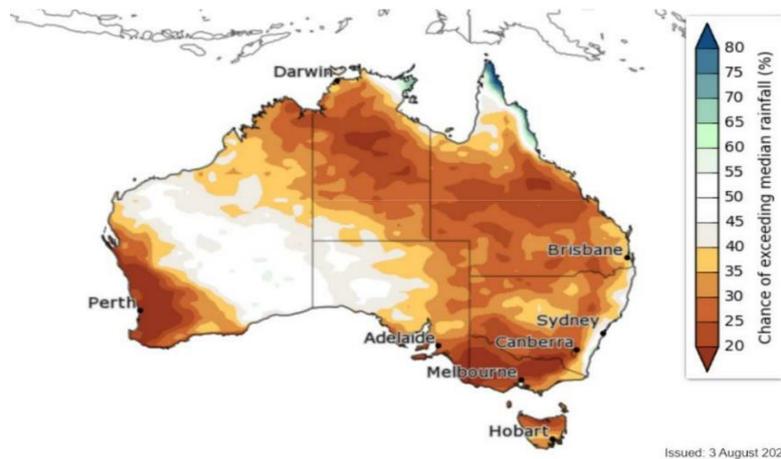
カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区では乾燥した状況が続いたため、例年より遅い収穫進捗となっていました。7月下旬より収穫が開始されました。生育期に山火事の煙による日照不足の影響で23年産の収穫量は大幅に減少することが予想されています。

同州南部レスブリッジ地区では1番刈の収穫作業は終了しています。収穫期の降雨も少なく天候に恵まれたことから上級品から中級品中心の発生となっています。市場については、産地相場を慎重に見極めているため輸出向けの動きは少ないものの、干ばつの影響や収穫量の減少でカナダ内酪農家からの需要も多く好条件で取引されており、今後の産地相場には注視が必要です。

豪州産オーツヘイ

23年産の作付けは終了し生育期中盤に差し掛かっています。全豪的に平年を下回る降雨量となっており、特に西豪州では平年の30%~50%の降雨量と乾燥した気候が続いています。下図は豪州の気象庁による8月から10月の降水量予測ですが、平年以上を下回る降水量になることが予想されており生産量の減少が懸念されます。



出典：The Australian Bureau of Meteorology より

豪州コンテナ船情勢

コンテナ船の情勢については上級品の出荷が中心の西豪州で、出荷量に対し空コンテナが不足しているためフリーマントル港では混雑が続き遅延が発生しています。アジア地域の積替港の混雑は緩和されていますが、現状もスケジュールは不安定な状況が続いており、日本への入船が予定よりも遅れるケースも散見されます。

以上

満天太郎 (まんでんたろう、S黒-002)

黒 15440(85.5)

生年月日 2017年5月29日

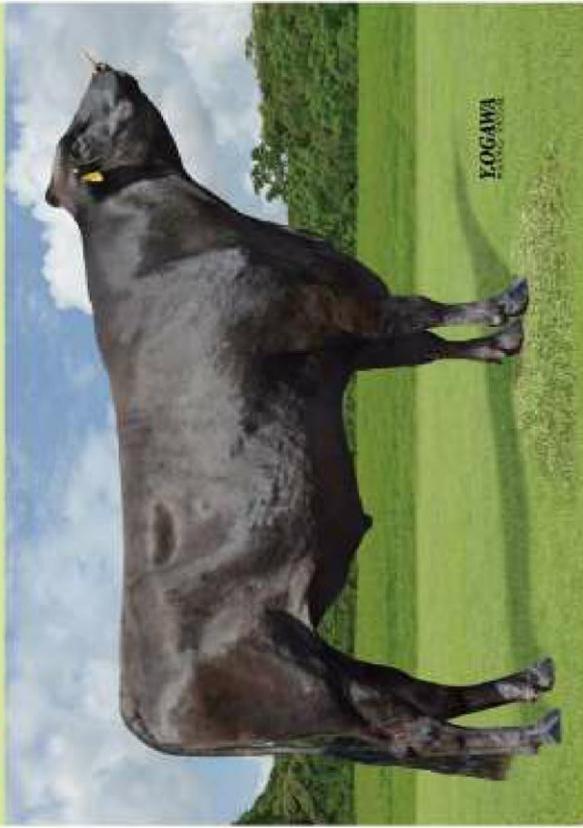
産地 北海道中川郡

繁殖者 全農 ET 研究所

管理者 佐賀県畜産試験場

個体識別番号 13451-4227-1

※姉妹牛 位子牛 10 頭 繁殖ブリー



LOGAWA

ゲノム育種価検査報告

形質	程度	-2	-1	0	1	2	程度	標準化係数
絞肉重量	小さい						大きい	1.99
ロース芯面積	小さい						大きい	1.07
バラ厚	薄い						厚い	1.54
皮下脂肪厚	厚い						薄い	0.95
歩容速歩型	低い						高い	1.05
脂肪交差	低い						高い	1.01

「満天太郎」は、前駆の充実感に加えて体伸も優れ、産肉能力が大いに期待できる。田尻系への交配がペターであり、その中でも大型の母牛への交配をお勧めしたい。

種付け・産子情報

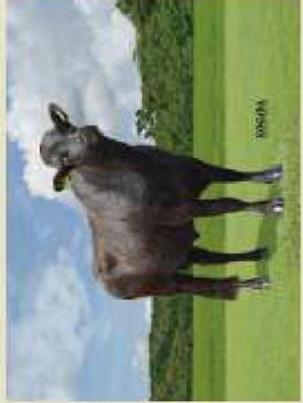
- 凍結精液受胎率 **72.9%(35/48)**
- 市場出荷時日齢体重
去勢：1.05(kg/日)
めす：1.05(kg/日)
- 黒牛市場取引平均価格
去勢：773,046円(+76,160円)
めす：675,600円(+68,287円)

※日齢は産後より平均産後日、2021.9 - 2021.12までのJAさが畜産センターにおける市場取引結果を用いた。

2023年 後代検定終了!!



満天太郎-京福久-平茂勝
17.8か月めす



満天太郎-百台彦-晴美登
17.5か月去勢

- | | | |
|---------|------|-------|
| 金太郎3 | 平茂勝 | 黒20平茂 |
| まんでん148 | ひくゆき | ひくみ |
| | 百台彦 | 金吾 |
| | とよ3 | ひくえ2 |
| | | 平茂勝 |
| | | しらゆり |
| | | 京福久 |
| | | しげゆめ |